



全国の高校生がNZの高校生と共に、日本の3つのSDGs課題に向き合う3日間

## 文科省「トビタテ！留学JAPAN」・NZ大使館「エデュケーション・ニュージーランド」共催 2か国の高校生による『NZ×#せかい部 SDGs起業アイデアソン』

9月18日(土)～20日(月・祝) @オンライン/無料 高校生20名(予定) 募集!

### コロナ禍でも出来ることは・・・？NZの教育手法をオンラインで日本の高校生へ提供！ 『NZ×#せかい部 SDGs起業アイデアソン～BizVenture 2021～』

文部科学省「トビタテ！留学JAPAN」による高校生の海外興味喚起プロジェクト『#せかい部』は、NZ政府の留学促進機関「エデュケーション・ニュージーランド（以下、ENZ）」と共催で、『NZ×#せかい部 SDGs起業アイデアソン～BizVenture 2021～』を実施します。

ニュージーランド（以下、NZ）の中学・高校の85%が採用している起業家育成プログラムを運営する慈善団体ヤング・エンタプライズ（以下、YES）の協力の下、SDGsに関連する3テーマについて、解決につながるビジネスアイデアを両国の高校生が考え英語で発表するイベントです。

『#せかい部』とENZがSDGsや社会起業をテーマに協業するには、以下の背景があります。

ひとつは、日本の高校生のSDGsやソーシャルアクションへの関心が高まっていること、またコロナ禍で留学しにくい状態が続く中、オンラインで高校生が海外の教育を受けられる環境が整ってきていることです。例えば、『#せかい部』が昨年秋に募集した「SDGs探究レポーター」には400名もの応募があり、選出されたレポーター達はSDGs達成に向けアクションをしています。その他にも、SDGsに関する国際イベントには、多数の高校生が参加してきました。

SDGsや社会起業教育に関して、NZは優れたパートナーといえます。NZはSDGsの各分野における起業家育成に力を入れていて、未来志向の教育制度は世界的にも評価されています。英誌『エコノミスト』の調査部門が毎年発表する「未来教育指数」において、NZの教育制度は英語圏において3年連続1位。未来の社会を生き抜くために必要とされる資質、スキルなど6つの観点で総合評価されています。起業へ向けての環境も整っていて、世界銀行の毎年発表する「ビジネスのしやすさ」ランキングにおいても、世界1位です。

NZに渡航しての留学が難しいなか、本イベントを通じてNZの教育を体験いただくことで、日本の高校生に貢献したいという意図で、プログラムを全て無償提供いただくこととなりました。

このような国際交流イベントを通して高校生の世界への関心を高めることで、コロナ終息後の海外留学機運を後押しして参ります。

### 「相対的貧困」「ウェルビーイング」「ジェンダー平等」に、高校生40名が挑戦する3日間

『NZ×#せかい部 SDGs起業アイデアソン～BizVenture 2021～』は、9月18日(土)から20日(月)に両国から20名ずつの高校生が参加。「子供の相対的貧困」「10代のウェルビーイング」「ジェンダー平等の実現」の3テーマに関する日本の現状や、各テーマの相関関係について共有し、8チームに分かれ解決に資するビジネスアイデアを考え、最終日に英語で発表します。3日間のスケジュールは別添資料の通りです。特に優れた発表をしたチームメンバーにはENZより最優秀賞、優秀賞が贈られます。

#### 『NZ×#せかい部 SDGs起業アイデアソンBizVenture 2021』概要

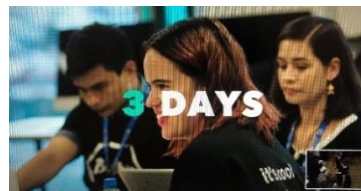
日時：2021年9月18日(土)～20日(月・祝) 土日は9時～17時、最終日は9時～12時15分  
形式：オンライン（ZOOM）※ZOOMのアカウントは、参加者にメールでお知らせします。  
対象：「#せかい部」公式SNSアカウントをフォローしている高校生20名（応募多数の場合は選考あり）

※一部通訳のサポートがありますが、基本言語は英語です。参加には、英検準2級程度以上の英語力と積極的にコミュニケーションを図る姿勢が必要です。

申込方法：2021年8月24日(火) 23:59 応募ページ (<https://tobitate.mext.go.jp/news/detail.html?id=320>) より申し込み。

※希望者先着50名にオンライン教育プラットフォーム「Future Learn」内、ENZ監修「Study with NZ」（デジタル受講修了証発行含む）をプレゼント

内容：SDGsに関連する3テーマについてのアイデアソン。日本とNZの高校生がビジネスアイデアを考え、最終日に発表。



YESプログラム  
イメージムービー



募集  
ページ  
←

<子供の相対的貧困をなくそう> SDGs Goal1 貧困をなくそう

日本の子供の7人に1人が相対的貧困にあり、シングルマザー家庭では半数以上。コロナ禍により、その状況はさらに悪化しているとも言われています。急激な少子高齢化が進む日本で、未来を担う子供の成長の機会を奪う、相対的な貧困をなくすためのアイデアを考えましょう。



<10代のウェルビーイングを高めよう> SDGs Goal3 すべての人に健康と福祉を

ユニセフが2020年9月に発表した、子どもの精神的幸福度。日本は38か国中ワースト2位。コロナ禍で10代の自殺率は急増しています。いじめ、将来不安、家庭環境…その背景にあるものを考え、誰もが身体的、精神的、社会的に良好な状態（ウェルビーイング）でいられる社会を実現するアイデアを考えましょう。



<ジェンダー平等を実現しよう> SDGs Goal5 「ジェンダー平等を実現しよう」

世界経済フォーラムが発表したジェンダーギャップ指数、2021年の日本は156か国中120位。特に政治分野、経済分野でのギャップが顕著で、管理職に占める女性の割合は15%。改善傾向とはいえ、世界のペースに追いつけていない日本が、ジェンダー平等を実現するためのアイデアを考えましょう。



「トビタテ！留学JAPAN」について

文部科学省が2013年に開始した官民協働留学促進キャンペーン。主な取り組みである「日本代表プログラム」は、約250社の民間企業・団体から120億円以上の寄附を集め、返済不要の奨学金で留学を支援。成績や語学力は不問、期間やテーマも自由で、多様な留学を支援することが特徴です。9,500名以上を選抜し、100か国以上に留学しています。その他、日本全体の留学機運を高めるため、様々なイベントや情報交換プラットフォームの主催、オンラインコンテンツ提供などの取り組みを行っています。

<https://tobitate.mext.go.jp/>



『#せかい部』について

『#せかい部』は、「トビタテ！留学JAPAN」の取り組みのひとつです。

学校や地域を超えた同世代がSNSでつながり、海外に関する情報や留学情報を相互に発信。

リアルな世界を知るきっかけをつくる、高校生による高校生のためのソーシャル部活動です。

普段SNS上で活動している高校生が全国から集まり、様々な海外の魅力や楽しさを共有するイベントを定期的に行っています。

<https://tobitate.mext.go.jp/sekaibu/>



共催 エデュケーション・ニュージーランド (ENZ) について

エデュケーション・ニュージーランド (ENZ) は、ニュージーランド留学のプロモーションを担当する政府機関です。ニュージーランドの教育機関を支援しながら、留学先としてのニュージーランドの認知度を高め、ニュージーランドの教育情報を世界に発信、普及することを目的としています。

ニュージーランド留学公式ウェブサイト:

<https://www.studyinnewzealand.govt.nz/jp/>



プログラムコーディネーター YES (Young Enterprise) について

YESとは、NZの中学・高校の85%がビジネスのクラスで採用している起業家育成プログラムを運営している慈善団体。NZ政府、地域や企業とのパートナーシップの下、YESはNZの中高校生に対し、事業企画、設立、運営までの一連のプロセスが体験できる様々なプログラムを、全国規模で1,000以上展開しています。

<http://youngenterprise.org.nz/>



スピーカー

**Terry Shubkin**  
CEO: Chief Excitement Officer



ファシリテーター

**Elizabeth Pittman**  
Head of YES: Chief Student Wrangler



ファシリテーター

**Alex Bullock**  
Events and Operations Manager

<本件に関する報道関係者お問合せ先>

文部科学省 官民協働海外留学創出プロジェクト「トビタテ！留学JAPAN」 広報担当：西川

電話：050-5468-1858 (携帯) 03-5253-4111 (代表) 03-6734-3624 (直通)

FAX：03-6734-4936

E-mail: [t-nishikawa@mext.go.jp](mailto:t-nishikawa@mext.go.jp)